

第20回放送番組審議機関 議事概要

■開催年月日：平成29年1月20日（金）

■開催場所：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 会議室

■Dlife放送番組審議機関審議委員（平成29年1月20日現在）：

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授）

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（株式会社oricon ME 元『オリ★スタ』編集部編集長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

*あいうえお順、敬称略

■出席した委員（敬称略）：

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授）

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

*あいうえお順、敬称略

■議題：

- ・視聴者からの問い合わせ状況報告（平成28年10月～平成28年12月分）
- ・Dlife開局5周年 編成プランについて
- ・ディズニー映画「ピートと秘密の友達」特別プロモーションについて
- ・番組審議（作品紹介とディスカッション、プロモーションの紹介）

<審査番組>

- ・「マーベル エージェント・カーター」日本語吹替版 第1話
- ・「白雪姫 魔法の秘密」日本語吹替版
- ・「ジェイミー&ジミー フード・ファイト・クラブ」日本語吹替版 第1話
- ・「グッと！地球便 オーストラリア /路上でバスカーをする弟へ」第2話

■議事概要：

○代表取締役社長 小林信一より年頭の挨拶が述べられ、開会された。

○平成28年10月～平成28年12月までに、カスタマーサービスに寄せられた問い合わせ状況について、入電者の男女比率、年齢層、視聴者からの問い合わせや要望、また再放送の要望が高かった番組について報告され、確認された。

○平成28年12月31日に放送された「ディズニー・オン・クラシック ジルベスター・コンサート 2016/2017」の放送内容変更について、小林信一社長より、視聴者から寄せられた意見概要の説明を含む状況報告が行われた。

審議委員からは原因と過程についての質問があり、放送機器のトラブルが原因であったことが説明され、理解された。

○平成29年1月より、Dlife開局5周年特別編成が始まること、番組宣伝映像を交えながら説明され、春先までの放送予定が紹介された。

1. 1月の特別編成について

マーベル最新映画「ドクター・ストレンジ」の公開にちなみ、特別編成「Dlife開局5周年スペシャル 第1弾 マーベル・サタデー」として、マーベル映画「キャプテン・アメリカ／ウィンター・ソルジャー」を放送、Dlifeで人気を得ているドラマシリーズ「マーベル エージェント・オブ・シールド 3」の放送も開始した。また、プロモーションとしてフィル・コールソン役の俳優、クラーク・グレッグが緊急来日し、特別編成を盛り上げたことも紹介された。

2. Dlife開局5周年を記念し、小藪千豊をMCに迎えたオリジナル新番組「セカイマ！」の放送を開始したことが紹介された。

3. 3月の開局記念月に向け、これまでに放送した番組を一般視聴者からの人気投票を行い、上位にランキングされたドラマを特別放送するという「Dlife開局5周年スペシャル 海外ドラマ SO!選挙」という特別編成企画が進行中であることが紹介された。

4. その他、新作海外ドラマの放送開始、映画公開と連動した特別編成等で、春以降も毎月5周年を盛り上げてゆく企画であることが説明された。

○昨年12月に公開されたディズニー映画「ピートと秘密の友達」の特別連動施策について紹介され、ディズニー・ファン、映画ファンに向けたユニークなプロモーション「エリオットをみつけ

よう！」の実施や特別映像の放送等が長期間展開されたことが紹介された。

○審議委員からは、事前視聴された番組に対し、それぞれ以下のような意見や感想が寄せられた。

— 「マーベル エージェント・カーター」第1話について、「時代設定がユニークで、ファッションから日常の生活描写、女性の体格設定に至るまで時代考査が優れており、マーベル・ファンならずとも、興味深く楽しめる。」「主人公の女性としての活躍に共感を持てた。」といった好評価が寄せられた。

— 「白雪姫 魔法の秘密」について、「ウォルトの勇気と努力によって初の長編アニメーションが生み出された作品であることが、当時関わった関係者の証言等により良くわかる大変貴重なドキュメンタリーである。この番組で初めてわかった誕生秘話がたくさんあり、興味深かった。」「現在の日本のアニメーションの原点でもあることを認識できた。」等、審議委員全員から絶賛のコメントが多々寄せられた。また、「Dlifeならではの、このような番組は何度も再放送して視聴機会を提供してはどうか?」「クラシックのディズニー・アニメーション映画もたくさん放送したら良いのではないか?」といったアドバイスその他、若い世代に魅力を伝えるため「ビートルズのドキュメンタリーも放送してはどうか?」といった希望も寄せられ、参考にすることになった。

— 「ジェイミー&ジミー フード・ファイト・クラブ」には、「調理方法から社会問題に至る食文化の要素が全て盛り込まれ、大変良くできた素晴らしい番組である」また「ジェイミーの気さくな人柄がゲストの素の魅力を引き出している。」「他のゲストの回も見てみたくなる。」といった賛辞が、審議委員全員から寄せられた。

— 「グッと！地球便 オーストラリア /路上でバスカーをする弟へ」第2話については、「日本では馴染みの無いバスカーという職業の紹介が興味深い。」「会社員を辞め、一大発起して海外に渡り頑張る姿に共感できる。」といった感想に加え、「遠方で暮らす日本人が、家族を想うことを思い出させてくれる素敵な番組である。」といった好評価が寄せられた。一方で、家族と、家族のメッセージを見た海外生活者の反応の描写については、「この描写があることでバランスが良い」という意見と、「この要素を省いて海外渡航者の様子をもっと紹介して欲しい。」というそれぞれの見解が述べられた。

以上